



ニッチトップを追いかける



上田工業株式会社

代表取締役

うえだ ゆうじろう
上田 祐二郎 さん

管工事・鋼構造物工事・製缶工事

倉敷市松江 2 丁目 3-47

TEL.086-441-4459

【仕事内容は？】

鉄やステンレスでできた製品の修理や金属製の材料を加工して、お客さまの要望に合うモノを製作します。切断して長さを調整したり、溶接してつなぎ合わせたり、穴あけや、曲げ加工、逆に曲がってしまったものを真っ直ぐに戻すこともあります。これまでに、水島コンビナート内の工場ですくスクリーンの補修や、金属製の配管の製作、輸送用レールの修理などを行ってきました。

【仕事へのこだわりは？】

常にニッチトップを一番の目標にしています。ニッチトップとは小さな市場で高いシェアを持つ企業のことです。多くの企業は需要が少ない事には取り組みませんが、そうした少ない需要に応えていくことでお客さまに認めていただいています。

また、お客さまが本当に求めているものは価格か品質なのかを見極めるため、事前のヒアリングを大切にしています。一般的にはニッチな製品は高価格になりがちですが、私たちはお客さまの要望に合わせて価格、品質の調整を行うことができます。価格と品質の両立を考え、試行錯誤を繰り返すことで私たちの技術力向上につながり、お客さまにも喜んでいただいています。

【やりがいは？】

製品を作り上げたときです。自分たちが培ってきた技術で、鉄やステンレスを溶接し、お客さまの要望通りに加工できた時はとても嬉しいです。特に製品が曲がらないように作るの難しいですが、設計の段階から調節する幅を持たせることで溶接時の微調整が可能となり、お客さまの要望に合った製品を提供することができます。

【若い世代に伝えたいことは？】

どんなことでも継続してほしいです。職人の世界では3~5年我慢しても成果につながらないことが多く、私自身も10社以上で経験を積み、20年以上この業界に携わってきて、やっとお客さまの要望にあった製品を提供できる様になりました。

お客さまに喜んでいただくことで、この仕事を継続してよかったと思えたので、やりたい事を見つけてとにかく継続してみてください。

【インタビューをしてみて】

上田さんは常にニッチトップを追い求め、利益だけを優先するのではなく、困っている人を助けたいという姿勢から、少ない需要にも前向きに取り組むことで、お客さまの信頼を集めていると感じました。

お客さまが真に望むものは何なのかを常に考え、価格と品質のバランスを調整した臨機応変な対応ができる技術力が、上田さんたちの強みであると確信しました。お客さまの困りごとを解決し、多くの企業を支えている上田さんは水島の街を支えているといっても過言ではなく、水島に無くてはならない人だと思いました。

私も上田さんのように、お客さまが本当に求めているものは何なのかを考え、それを叶えるための努力を継続し、地域に必要とされる人材になりたいと感じました。

お忙しい中インタビューさせていただきありがとうございます。

作成:2022年度新入職員一同

